



令和5年度3年 第3回実力テスト講評

いま持てる力はすべて発揮できたでしょうか。「ただの計算ミスやん」「時間が足りなかっただけで…」「今回のテストは凡ミス多かった」などなど、色々な会話が聞こえてきました。

思うように点数がとれなかった、わかっていたはずなのに間違えてしまったと考えている人は、見方を変えてみましょう。厳しい見方をすると『それも含めて、いまの実力』とも言えます。自分の力を十分に発揮することができるのは『自分の努力に自信が持てたとき』です。残り僅かな時間、有意義に使いましょう。

教科	平均点	各教科からのコメント
国語		漢字、論説、古文、漢文に加え、文学史、作文の問題も出題しました。文学史は今までに習っている作者を答える問題だったので、日ごろから勉強をしている人は簡単だったと思います。作文は表記の仕方に課題を感じました。書き言葉としてふさわしい文章が書けるよう、これから特訓していきましょう。また、作文を含め、記述の問題は8割以上を書くことをもう一度意識してください。
社会		地理と歴史は、基礎的な問題から出題しました。公民は、少し難易度が高く、「地方の直接請求権」のところの正答率が低かったです。これからの授業では、歴史の流れを確認し、復習していきます。高校入試に向けて、問題を何度も解き、記憶の定着を図ってください。
数学		大阪府立高校学力検査問題のA問題とB問題の難易度の問題を、それぞれ半分ずつ出題しました。計算問題、小問集合、規則性の問題は日ごろの練習もあって、正答率が高かったです。 一方、平面図形と空間図形の問題は正答率が低く、試験までに対策が必要だと感じました。授業の課題で、平面図形と空間図形の特訓をする予定です。一緒に頑張ってください！
理科		理科の学習を効率よく進めるには演習問題を解くことが一番です。特に、入試直前のこの時期には、多くの人にとって理科の内容の本質的な理解以上に、パターン化された問題の解き方をどれだけ知っているかが重要になります。新しく問題集などを購入しなくても、1～3年の問題集の解き直しで十分です。また、授業の課題としても取り組んでいくので、積極的に参加してください。進学先での理科の授業にも役立つので、最後までがんばりましょう。
英語		大阪府立高校学力検査問題のB問題の難易度の問題を想定して、出題しました。リスニングが約10分あり、残りの35分で他の問題を解かなければなりません。実際の入試も時間との勝負になることが予測されます。順番に解くのではなく、自分ができそうな問題から解くことが大切です。これから入試対策をしていきますが、そのようなテクニックも必要です。 しかし、それ以前に単語力（正確に書く力）に大きな課題が見えました。以前に学習した単語を再度正しいスペリングで書けるかの確認をしましょう。